



五中だより

府中市立府中第五中学校

校長 酒井 泰

平成 29年7月 13 日 No.3

あいさつについて

「あいさつ」という言葉を辞書で引くと、「新たに顔を合わせた際や別れ際に行われる礼儀として行われる定型的な言葉や動作を指す。日常生活に欠かせない人と人とが気持ちよく生活できる言葉でもある。」と書いてありました。また、「多くの社会で人間関係を円滑にする上で使用されている。」との記載もありました。

生徒が学校生活を送る上で、様々な場面で「あいさつ」をします。登校した時に「おはようございます」、授業の開始時に「お願いします」、授業終了時は「ありがとうございました」、下校時には「さようなら」などです。教員は生徒たちに「気持ちよくあいさつをしましょう」と指導をしています。私も廊下で生徒とすれ違う際には、「おはようございます」や「こんにちは」とあいさつをしています。元気に「おはようございます」と気持ち良く言葉を返してくれる生徒が多く、温かい気持ちになります。最近、学校行事や様々な会合で本校を訪問された方々から、「生徒さんがよくあいさつしてくれますね」「心優しい生徒さんたちですね」などのお褒めの言葉をいただくことが多くなりました。

人とすれ違う時に、黙っているのではなく、声を出してあいさつをすることは、時に勇気があることかもしれませんが、あいさつをされて嫌な思いをする人はいません。また、誰かから褒められるからあいさつをするのではなく、また、しないと叱られるからあいさつをするという人もいないと思います。私は「あいさつの励行」のために、次のようなフレーズを作りました。

あ：あいて（相手）の目を見て
い：いつも元気にあいさつすれば
さ：さわやかな気持ちで
つ：つながる心

府中第五中学校の生徒たちが一層積極的にあいさつをしてくれることを期待しています。



運動会の成果

6月3日（土）に梅雨の時期とは思えない晴天の下、運動会が開催されました。生徒による実行委員会を組織し、生徒が運営の中心となって運動会を作り上げました。

生徒たちは昨年度の反省を受けて、砂ぼこり対策として競技間に打ち水をしたり、入退場門を5色のクラスカラーで装飾したり、得点板を学級カラーで着色するなど様々な工夫をして本番に臨みました。

何よりも「心に刻め 感動の声 信じて闘え 仲間とともに」という自分たちで作上げたスローガンを実行するため、委員会、各学級での取組の充実が図られました。生徒たちは団結力・仲間に対する信頼を強くし、同時に達成感・成就感を味わったことと思います。

教員から指示されたことをこなすだけではなく、自分たちで主体的に考え・行動する力を身に付けたと思っています。運動会で得た自信を糧に生徒たちは、様々な面で五中をよりよくするために積極的になってくれていると思います。

それは、今年から生徒会・委員会等では活動の活性化のために、「チェックし、できないところを指摘することが中心の活動」から、「頑張った点を評価し、もっと良くするための状況の把握」へ意識を変えてくれたことにつながったと思っています。

セーフティ教室・地区別懇談会が開催されました

6月28日（水）の5校時にセーフティ教室が開催されました。今年のテーマは、SNSに関わる問題についてでした。実は、昨年と同じテーマで学習をしました。その理由は、この問題については、日々新たな問題が発生し、昨年度までの知識では対応することができなくなっていること、また、日々気を付けているようで、ついというっかり、油断してトラブルに巻き込まれる可能性があることから、繰り返し対応策を考えておく必要があるためです。インターネット・携帯電話・そしてSNSに関わる問題は、情報漏洩や人間関係のトラブルを引き起こす原因ともなっており、社会全体の大きな問題になっています。

当日は、府中警察署の少年係の方々から言葉巧みに個人情報や奪われる事例を扱った映像をもとに同様の事件に巻き込まれないための留意点について具体的に指導を受けました。

どうぞ、ご家庭でもこうした問題に対する正しい知識と適切な対処法について生徒と一緒に話し合っていただきたいと思います。なお、SNSに関しては、「SNS五中ルール」があり、「利用は午後10時まで」など、守るべきルールも生徒たちが決めています。これも参考にいただければ幸いです。

また、セーフティ教室のあと、地区別懇談会が開催されました。各地区から保護者や地域の方々に参加していただき、SNSの問題をはじめ、様々な問題行動から生徒を守り、健全に育てるための情報交換、対応策の協議が行われました。熱心な話し合いをしていただき、ありがとうございました。その場で頂戴したご意見を今後の学校での指導に生かしてまいりたいと思います。

少人数・習熟度別指導について

今年度から、2・3年生の英語の授業が少人数・習熟度別指導になりました。生徒の英語での発話の回数が増えるとともに、教員がきめ細かく学習状況を把握できるようになっています。英語における「聞く・話す・読む・書く」という4つの技能のバランスの良い成長を促し、生徒たちが英語を学ぶことを好きになり、そして得意になってほしいと思います。

授業参観をすると、役割演技やペア学習などで大きな声で自信をもって学習に取り組んでいる姿を見ることができます。間違いを恐れ、自信のない小さな声での発表となっていないことが今後の一層の成長につながると思っています。

コミュニティ・スクール推進委員会報告

6月23日（金）の午後7時から第2回コミュニティ・スクール推進委員会を開催いたしました。今回は、今年度の各学年の「総合的な学習の時間」について「熟議」を行いました。

「熟議」とは、文部科学省の推進するコミュニティ・スクールを運営するために開催される「学校運営協議会」が学校経営の充実のために「テーマ」を決めて、メンバーが意見交換をするものです。当日は、各学年の今年度の計画の概要を学年主任から説明をしてもらった上で、「学習テーマに沿った専門家を外部指導者として招くための協力の在り方」、「生徒のプレゼンテーション能力の向上のための方策」などについて意見を交わしました。次回は、7月26日（水）午後7時から第3回の委員会を開催する予定です。テーマは「学校運営予算について」を予定しています。

